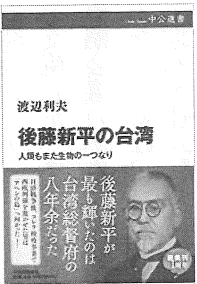


『後藤新平の台湾』

渡辺利夫著

二十代、三十代が仕事の
修業時期とすれば、知見と
風格を備えて挑む^{いんど}四十代
は、もつとも力量を発揮で
きる収穫の年代なのかもし
れない。近代日本の代表的
政治家である後藤新平の四
十代は、「難治の島」台湾の
経営に注^{そそ}がれた。年来の思
想「生物学の原理」によっ
て、次々と展開される事業。
^{はつちつ}潑刺とした明治の時代精神
で、発揮されるリーダーシ
ップが眩^{まぶ}しい。(T・N)



中公選書／本体1,600円+税